

株式会社 エイト日本技術開発 東北支社
長谷川 健

ー 東北支社に赴任してー

【はじめに】

株式会社エイト日本技術開発・東北支社の長谷川健と申します。
東北支社へは令和元年6月に赴任し、令和2年6月1日から全国上下水道コンサルタント協会東北支部にお世話になることになりました。
出身は、弊社本店のある岡山県ですが、東北支社の前は関西に29年勤めていました。まだ協会に入って間が無く、また新型コロナウイルス感染拡大のため、協会活動は運営委員会への参加1回のみであり、みなさまとお会いできる機会もありませんでしたので、自身の紹介と仙台に来て大変であった令和元年東日本台風（令和元年台風19号）対応、及び新型コロナウイルス感染症への対応を中心に紹介させていただきます。

【自己紹介】

まずは簡単に自己紹介をさせていただきます。

- ・生年月日：1960年1月15日生まれ、60才（還暦）になりました。
- ・家族：家族は妻、娘二人で、長女に子供一人。おじいちゃんです。
現住所は兵庫県尼崎市であり、現在は単身赴任中です。
- ・趣味：現在はゴルフとスポーツジムです。（とにかく体を動かすことが好きです）
- ・経歴：大学卒業後、1982年に(株)エイト日本技術開発の前身である(株)エイトコンサルタントに入社し、今年で38年目を迎えます。職務経歴は、地盤解析、トンネル、橋梁、農業土木、上下水道、港湾、河川とインフラ分野に幅広く対応してきました。現在は、東北支社副支社長として支社管理を中心に行っています。

【令和元年東日本台風への対応】

令和元年東日本台風（令和元年台風19号）は、令和元年10月6日にマリアナ諸島の東海上で発生し、12日に日本に上陸し、関東地方や甲信地方、東北地方で記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらしました。

台風19号の特徴として、北寄りの偏西風・太平洋高気圧の張り出しにより関東に上陸し、西よりコースとなったこと、日本近海まで海面水温が高く、「強い・大型」の台風で上陸したこと、停滞前線や地形の影響、台風による水蒸気流入により記録的豪雨が広域で発生したこと等が挙げられます。宮城県内においても、死者19名、行方不明者2名、住宅被害全壊170棟、床下浸水3031棟、堤防決壊（県）18河川36箇所、（国）1河川1箇所と、多大な被害を与えました。（2019年12月14日時点）

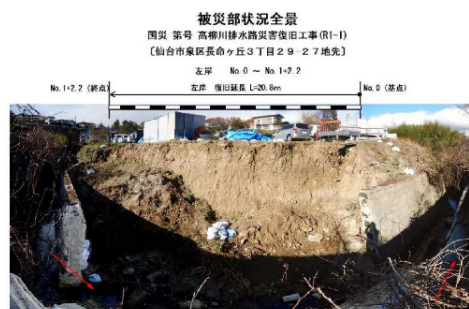
当社においても、上下水道コンサルタント協会や建設コンサルタンツ協会などから災害対応要請をいただき、上下水道に関しては仙台市への対応を行いましたので、ここに紹介させていただきます。

対応箇所は、仙台市泉区の高柳排水路、洞ヶ沢排水路、砂押川排水路、宮城野区の藤川排水路の4河川、5箇所です。何れも出水による護岸の崩壊箇所でした。作業体制は、弊社東北支社上下水道TMで対応しましたが、護岸設計が主体であったため、河川TMの支援を受けて実施しました。

対応スケジュールは、初回打合せ10/31、概算被害額算定（前日に数量報告）11/12、目論見書提出11/25、一次査定12/12～13であり、東北支社内では他の道路、河川災害も対応していたため、限られた人数での対応であり、かなりタイトな工程でした。また査定の翌日が朱入れで、夕方に対応依頼を受けたため、徹夜で朱入れ対応作業を行いました。

東北支社上下水道TMは、今まで災害復旧に係わる事が無かったため、河川TMの支援や発注者の理解を得ながらの対応となりましたが、良い経験ができたと考えています。また災害復旧に携わることは、「人の役に立つ仕事」として充実感がありました。

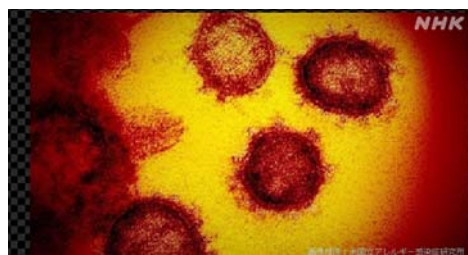
令和2年度 第2回水コン協東北支部運営委員会において、令和元年台風19号への復旧支援活動に対して感謝状を頂きました。全国上下水道コンサルタント協会村上会長、高橋支部長をはじめ、協会の皆様に対してお礼申し上げます。



【新型コロナウイルスへの対応】

また、今年の出来事として忘れてはいけないことに、新型コロナウイルス感染症への対応があります。

新型ウイルスは、2020年2月11日にWHOが「COVIT-19」と命名したもので、日本では2月1日施行の政令でウイルス名を『新型コロナウイルス』、疾患名を『新型コロナウイルス感染症』と定めたものであります。



日本では、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している状況下において、1月30日に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき内閣総理大臣を本部長とする「新型コロナウイルス感染症対策本部」が設置され、2月25日に「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」が定められました。その後、感染経路不明な患者の増加している地域が散発的に発生し、一部の地域で感染拡大がみられてきたことから、4月7日に7都府県に緊急事態宣言が発令され、さらに全国的な感染により4月16日には全国に拡大されました。(5月25日に全面解除)

弊社では、政府の施策に基づき、2月29日に本社対策本部を設置し、「新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応策について(従業員マニュアル)」を策定して、感染症拡大防止対策を講じてきました。さらに拠点となる各支店に現地対策本部を設置し、地域の実情を踏まえた「対応計画書」を策定し、感染症拡大防止を図ってきました。

具体的には、咳エチケットや手洗いの励行、毎朝夕の検温、社内でのソーシャルディスタンスの確保、共用部接触箇所の消毒、在宅勤務や時差出勤の奨励、出勤時の公共交通機関以外の利用促進、出張の制限 等等、実施しました。現在は、地域での感染拡大状況を踏まえつつ、新しい生活様式の実践により、感染予防拡大対策を実施しています。現在、新型コロナウイルスの感染拡大はまだまだ衰えていない状況であり、各種行動も制限されていますので、早期に終息するよう祈願するところであります。

【おわりに】

先日、令和2年度の水コン協東北支部の年内行事中止等のお知らせがあり、今年度の釣り、ゴルフ、女性懇談会は中止との報告がありました。ゴルフ大好き人間の私にとっては、大変残念なお知らせとなりました。来年度の開催を期待し、一層腕を磨いておきます。

最後に、定年まで残り少なくなりましたが、今後協会活動を通じて、全国上下水道コンサルタント協会東北支部、ひいては業界全体を盛り上げていきたいと考えており、微力ではありますがお手伝いさせていただきたいと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。

以上、2020年10月